



北国での暮らしや住宅について先輩移住者がアドバイス

近い将来検討したい

移住体験ツアー



先輩移住者のお宅を訪問

3日目は、屈斜路・コタン・弟子屈原野の移住地を見学したほか、同地区に移住された方のお宅を訪問し、北海道での生活について伺いました。今回も先輩移住者がツアーに同行し、参加者にアドバイスなどを行いました。参加者からは「効率よく移住地を見学できた」「先輩移住者のお宅訪問が参考になった」「弟子屈の良さを再確認でき、移住への思いが募った」といった感想が聞かれました。

町では、7月5日から7日までの3日間の日程で「涼夏！ひがし北海道移住体験ツアーinてしがが」を実施しました。北海道への移住を考えている方に町内を訪れていただき、具体的に検討していただくことを目的に開催しているもので、今回で14回目。関東、関西から2組3人の方が参加しました。初日は医療施設見学として摩周厚生病院を訪問。担当者の案内のもと施設内を見学しました。また、物価の確認のためにスーパーやホームセンターを訪れました。2日目は、移住を希望する方や実際に移住された方が多い美留和・南弟子屈地区を見学したほか、先輩移住者のお宅を訪問。先輩移住者から、移住後の暮らしや移住に至った経緯などについてお話を聞きました。また、ガイド同行の下カヌー体験も行い、弟子屈の大自然を体感しました。

外来種駆除を通して環境保全学ぶ

小・中学生によるジュニアパークレンジャー



手分けしてオオハンゴンソウの駆除を行う子どもたち

子どもたちは、環境省川湯自然保護官事務所や川湯エコミュージアムセンターの職員、パークボランティアの皆さんから、オオハンゴンソウと他の植物との区別の仕方について説明を受け、駆除に挑戦。協力し合いながら、根本から引き抜いていました。



オオハンゴンソウの見分け方について説明を受ける児童

町内小・中学生によるジュニアパークレンジャー事業(同実行委員会主催)が7月3日、町内各地で行われました。近年、町内でも生息域の拡大が確認されている国指定の特定外来種・オオハンゴンソウ(北米原産)の駆除を通して、地域の自然環境保全や社会貢献活動への関心を高めることを目的に、初めて行われたもの。2006年度から09年度の清掃活動「クリーン・タッチ」、10年度から12年度の植樹活動「グリーン・タッチ」を継承する、環境に関する取り組みです。3・5の両日で、町内全ての小・中学生と弟子屈高校生が取り組む予定でしたが、悪天候の5日は中止となり、川湯中学校の生徒と川湯、和琴、美留和、奥春別、昭栄の各小学校の児童、川湯保育園児ら約100人が参加しました。

町の話題



町の話題

町の話題



町の話題

エコパスポートで環境に優しい旅を

摩周・屈斜路環境にやさしい観光交通がスタート



エコパスポートを使って効率よく観光

弟子屈町地域公共交通活性化協議会会長・徳永町長が行う、弟子屈2daysエコパスポート事業が、今年も7月13日に始まりました。エコパスポート事業は、観光交通実証運行として2009年に開始。昨年度から町単独事業として本格運行しました。エコパスポートは大人1千800円、子ども(小学生)600円で、JR釧網本線の摩周・美留和・川湯温泉間、町内路線バス、摩周湖バス、屈斜路バス、期間限定ジャンボタクシーが2日間乗り放題(乗り降り自由)というもの。今年も新たに、期間限定バス専用券(摩周湖・屈斜路湖・パノラマエコパスポート)と町民バス(町民エコパスポート)も登場し、公共交通機関を利用した環境に優しい旅の提案と、地域公共交通の活性化を目指します。昨年は約2千400人の方に利用いただき、好評を得ました。今年も10月6日(日)まで、エコパスポートの販売を行います。エコパスポートは、JR摩周・川湯温泉両駅内のエコパスポートのほかに、(株)ツーリズムてしがが(川湯温泉)でも取り扱っていますので、皆さんもぜひ、利用してみませんか。

川湯駅前から屈斜路バスを利用する観光客

優秀な血統に期待

日置市から贈られた肉牛「かねはる」が雄牛を出産



母牛のかねはるに寄り添う子牛

本町の姉妹都市である鹿児島県日置市から贈られた繁殖用肉牛の「かねはる」が6月26日、雄牛を出産しました。「かねはる」は、昨年の鹿児島県畜産共進会でブランドチャンピオンに輝いた肉牛(和牛)です。これまでも日置市とは畜産面での交流を行ってききましたが、今回、日置市の生産農家・久保吾郎さんと宮路高日光置市長の厚意でブランドチャンピオン牛の導入が実現。4月30日に引き渡されました。弟子屈町肉牛振興会(鴨志田光栄会長)会員の芝田靖明さん(御卒別)が飼育を担当しています。優秀血統からの子牛の誕生に、関係者は喜びに沸いています。「かねはる」導入の目的は、優秀血統による和牛改良。早ければ9月にも採卵し、肉牛振興会の繁殖牛に受精卵を受胎させる予定です。鴨志田会長は「かねはる」は日置市との友好の証。和牛改良に努め、ブランド化につなげるのが日置市に対する恩返しになると思う」と話していました。